



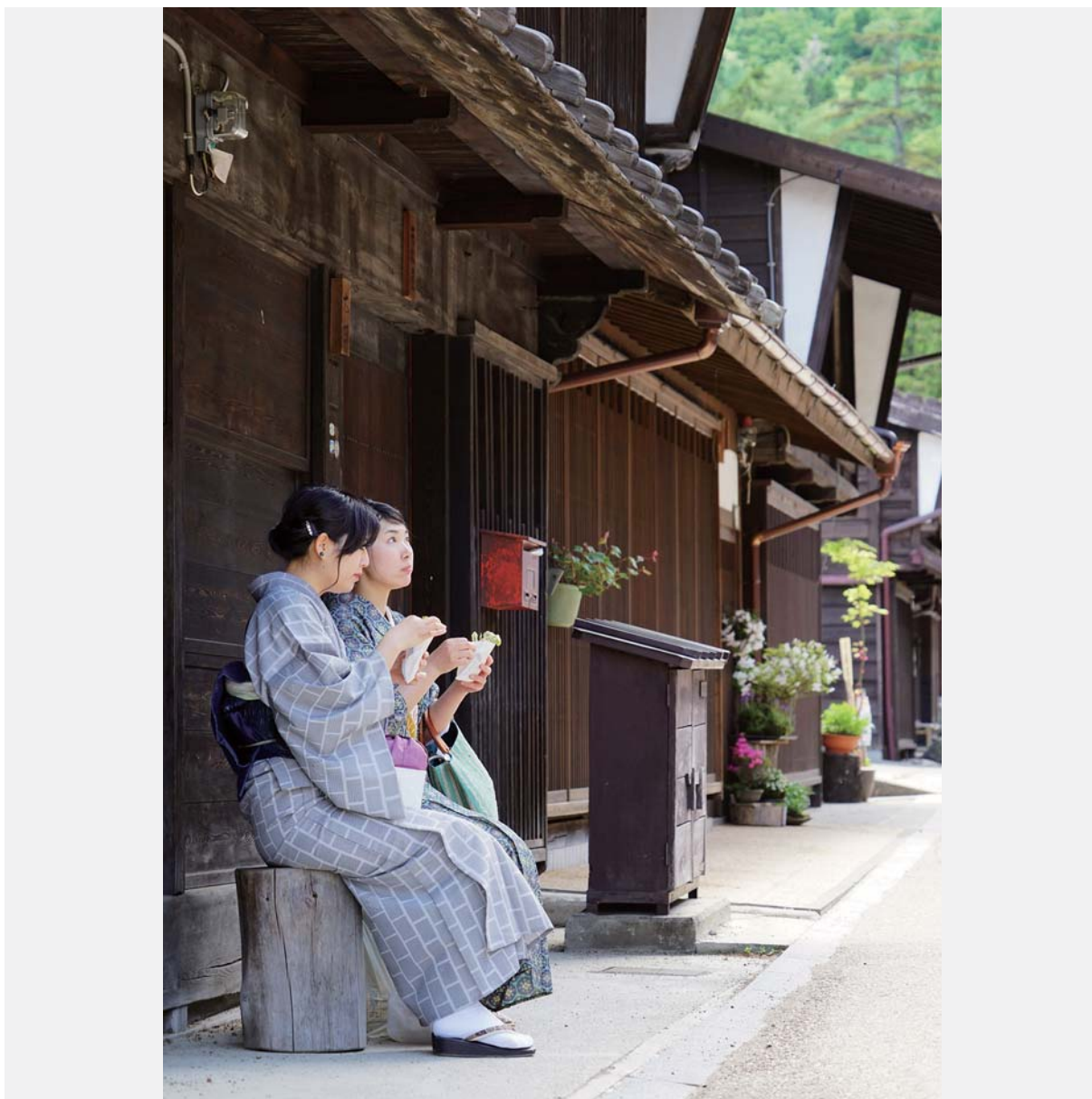
着物の似合う木曾路の風景
フォトコンテスト
2017



結 果 発 表

【主催】木曾漆器祭・奈良井宿場祭実行委員会

【共催】信濃毎日新聞社 【後援】長野県写真連盟 【協力】株式会社たちばな



【作品タイトル】 ひと休み
菅沼 正貴 様

【作者コメント】

古民家の前で休憩するふたりを写しました。

手元の天ぷらを見る女性と、少し上を見上げる女性。

ゆっくりとした時間の流れを感じさせるひとときを切り取りました。



【作品タイトル】 新緑の木曽大橋
上條 和雄 様

【作者コメント】

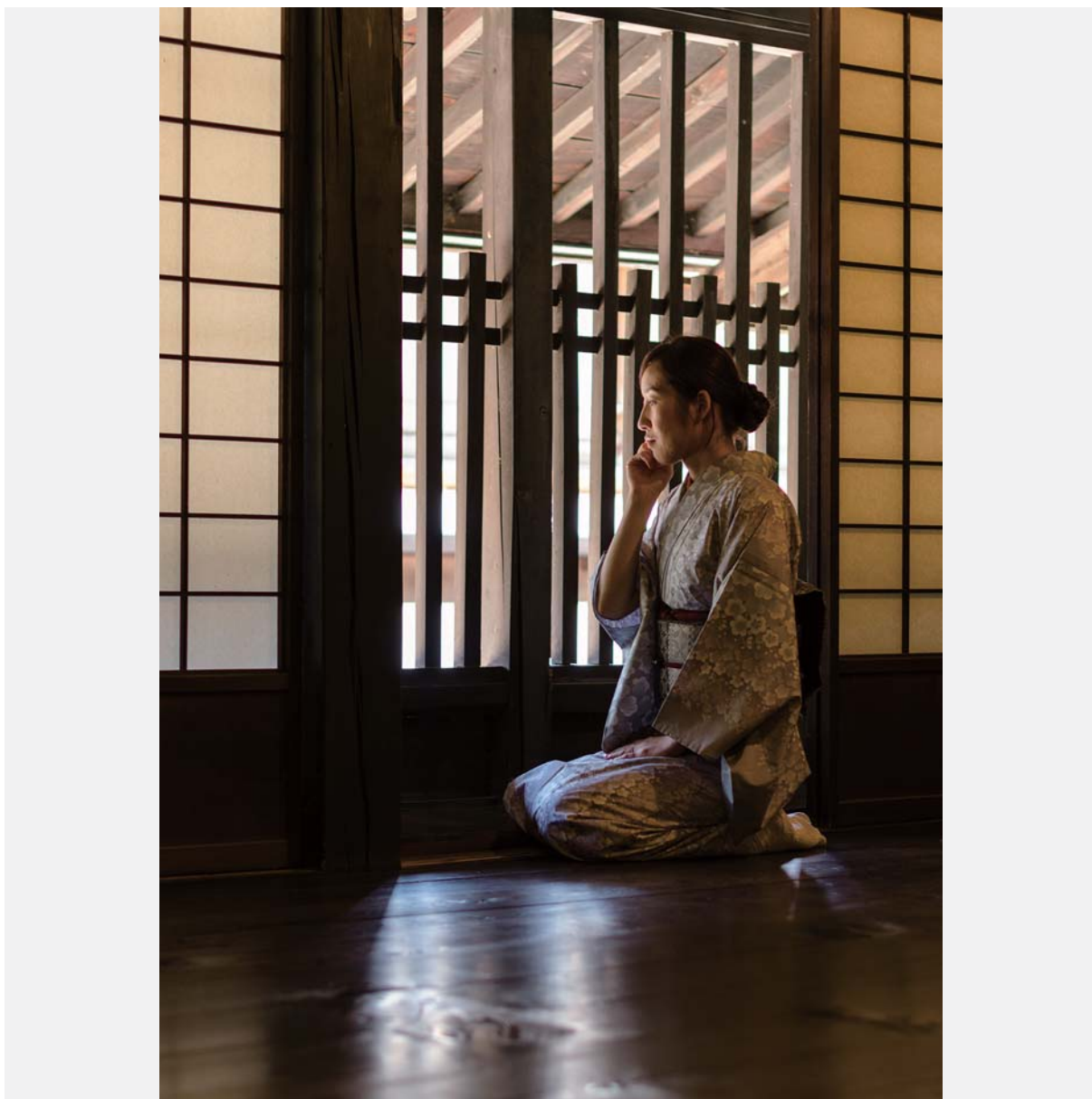
茶色の重厚感あふれる木曽大橋は堂々と姿を見せている。
壮大な緑のコントラストが木曽大橋を包み込む。
赤い着物姿の母と娘に静かに時が流れている。清々しく美しい木曽の風景。



【作品タイトル】 宿場を散策
金井 健二 様

【作者コメント】 _____

天気が良く、着物で日傘を差して宿場街を楽しく散策していた。
着物と傘が宿場によく合う。



【作品タイトル】 窓際の静寂
田中 佑輝 様

【作者コメント】 _____

道行く人で賑わう宿場町。
建物に入ると、そこには静寂が広がっていました。



【作品タイトル】 街道を楽しむ
柿澤 良江 様

【作者コメント】 _____

宿場街を歩く着物姿の3人娘さんが、歴史ある町並みに似合っていました。



【作品タイトル】 相合和傘
高宮 喜和 様

【作者コメント】

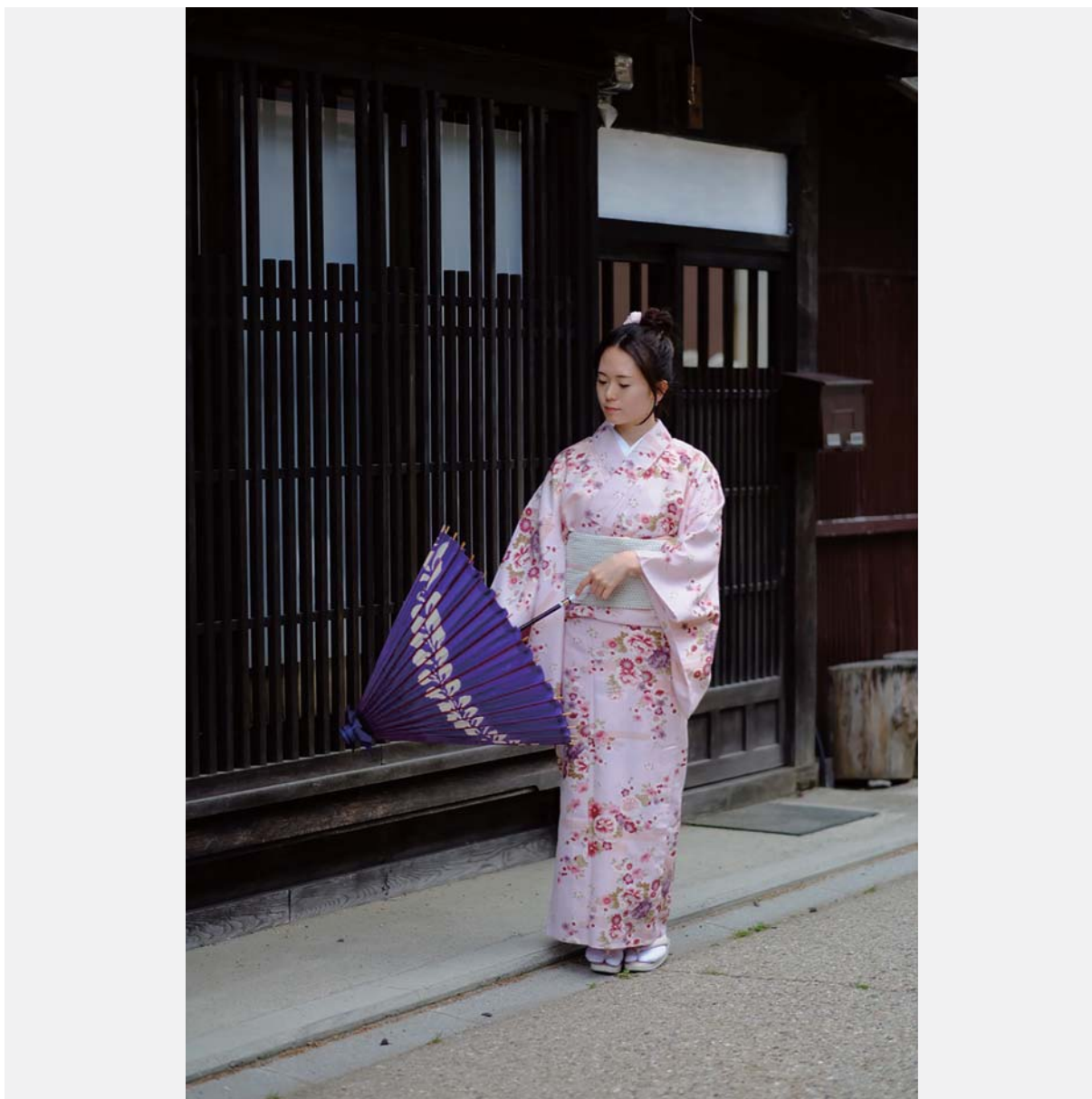
初夏の日差しを相合傘で歩く二人が心を和ませてください。



【作品タイトル】 宿場の女^{ひと}
小林 員正 様

【作者コメント】 _____

着物と帯、格子戸の美しさを写した。



【作品タイトル】 ちょっとそこまで
木村 加代子 様

【作者コメント】

まるで過去にタイムスリップしたかのような奈良井の町並み。
中でも格子がとても美しく着物との相性も良いため、
同じ写真の中に2つをおさめたいとの想いで撮った1枚です。



【作品タイトル】 至福のとき
岡田 泰文 様

【作者コメント】

親子二人して着物旅する喜び。
間もなく嫁がれる娘さんと一緒に、風情ある奈良井を町歩きしたこの時間は、
二人にとってまさに至福の時だったと思います。



【作品タイトル】 ポーズをつけて
降旗 正雄 様

【作者コメント】

格子戸の前でポーズをつけて、これでいいかしら、と言っている様子。



【作品タイトル】 いろどり 彩をそえて
窪田 正信 様

【作者コメント】

古き町並みと着物姿がお似合いの写真となりました。
目線をあえてはずし記念写真から抜け出し、
若い女子に「行ってみたい奈良井宿」がアピールできたと思います。